

わたまちだより

第2号

令和 2年 10月1日

発行/渡良小学校区

まちづくり協議会

防災士講習受講者3名決定

先日より受講者の募集をお知らせ致しておりました「渡良あんぜん部会」所管により企画の長崎県危機管理課主催の長崎県防災士講習会の受講希望者が決まりましたのでお知らせします。わたまち協(渡良小学校区まちづくり協議会の略称)としては地区内各自主防災組織から1名の防災士有資格者を確保して渡良地区の自主防災のリーダーとして今後、発生すると思われる災害時の対応に期待しているところですが今回はまず3名からスタートということで進めたいと思っております。詳細は事務局へ

第2回役員会決議事項

やれることから
始めよう。



◎あんぜん部会関係

- ①地区老人会みまもり活動支援事業
- ②海、ため池周辺救命浮環設置調査事業

◎きばろう部会関係

- ①小崎公民館提案(通学路の高枝伐採)
- ②小学校まえ花壇整備支援事業
- ③小学校周辺通学路除草剤散布支援事業

◎事務局関係

- ①各部会企画遂行事業参加者へのポイントによる謝礼
- ②交付金全額申請受領報告(会計)

<<<お知らせ>>>

※ 第2回役員会で議決しました渡良地区老人会見守り立哨活動が9月より「わたまちあんぜん部会」新規活動として動き出しました。子供たちの通学安全見守りと通学路の美化活動。皆様のご協力をお願いします。

10月の事務局行事

- ◎10月1日交付金受領
- ◎10月5日(月)第2回役員会
- ◎10月14日(水)第3回集落対策研修会
- ◎10月16日(土)渡良地区老人会役員会
- ◎10月17日(土)志原まちづくり協議会開所式
- ◎協議会イベント参加交通費など精算支払い(9月末までの分)
- ◎部会事業ごと具体的計画策定
- ◎第2号広報誌原稿作成



「SDGs」とは

SDGsとは「持続可能な開発目標」

2015年9月、ニューヨークの国連総会で、世界の193の国々が全会一致で合意した『持続可能な開発目標(以下、SDGs)』この合意により、貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができる世界を目指して、世界中が努力することが約束されました。

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称で、17の目標、169のターゲットから構成されています。SDGsの基本理念に「誰一人取り残さない」を掲げ、経済・社会・環境のバランスを重視しながら、国際社会が一体となってSDGsの達成を目指しています。

2018年6月に、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けた優れた取り組みを行う自治体として、長崎県で初めて(離島で唯一)、壱岐市が「SDGs未来都市」として選定され、総理官邸にて選定証授与式が行われました。また、このSDGs未来都市の中でも、特に先導的な取り組みとして「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。現在は、SDGs推進関係省庁タスクフォースによる強力な支援を受けながら、SDGsの達成を市政の柱として、戦略的に進め、地方創生の一層の促進に取り組んでいます。

壱岐市では、今回の「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことで、日本に求められるSDGsモデル事業を推進する考えです。

地方創生を合言葉に、日本の各地域では様々な施策が実施されているようです。

その中でも、壱岐市やその他のSDGsモデル事業として選定された地域は、各地域のモデルケースとなるべく地域一丸となって活動しているのです。

特に産業の分野では、最先端技術との融合を図るなど、日本の未来を見据えた事業展開に期待が高まります。産業以外でも、地域住民との対話会でのアイデアで、副業元年と言われている「壱岐テレワークセンター」など、学べることが沢山あります。

今後も、IT技術を活用した「スマート6次産業化モデル構築」や環境問題に取り組む「環境ナッジ」など、壱岐市の活躍から目が離せません。

※壱岐市におけるまちづくり協議会の発足もその一環で「わたまち協」の活動もそれに沿った活動をとおして渡良地区の活性化に寄与したいと思っておりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

